

平成29年度 事業報告

1. 基本方針

我が国においては、少子高齢化が進展し、総人口は平成28年8月1日現在、1億2,698万人となり長期の人口減少過程に入っています。以後も減少を続け、平成60年には1億人を割って9,913万人となり、72(2060)年には8,674万人になると推計されています。

一方、65歳以上の高齢者人口は、平成28年に3,449万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる37年には3,657万人に達し、その後も高齢者人口は増加を続け、54(2042)年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されています。

こうした中で、平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の高齢者の就労促進において、「日本には、『アクティブシニア』とも言われるように、元気で就労意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者が多数おられる。他方、高齢者の7割近くが、65歳を超えても働きたいと願っているのに対して、実際に働いている人は2割にとどまっている。生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の希望を叶えるための就職支援を充実する必要がある。人口が減少する中で我が国の成長力を確保していくためにも、高齢者の就業率を高めていくことが重要である。」とされており、特に ①保育等の就業機会の提供に、積極的に取り組むシルバー人材センターに重点的に財政支援を行い、保育分野での高齢者の就業を推進すること、 ②介護周辺業務や軽易な介護業務に関して、シルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられています。

今まさに、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

こうした地域の期待に応えるために、佐賀県シルバー人材センター連合会では、平成29年度も地域のセンターと一致協力し、様々な課題解消に向けた新たな事業を展開することにより、高齢者の多様な働き方としてのシルバー派遣事業や職業紹介事業も有効に活用して新たな就業機会の確保に努めました。もちろんセンター会員の就業の基本は、請負就業であることから、シルバー派遣事業にだけ頼ることなく、今後の事業拡大策として福祉・家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援事業などにも積極的な支援を行うため、サポート事業や高齢者活躍人材育成事業を活用した技能講習や接遇講習などを実施し、新規会員の発掘等にも積極的に取り組みました。

平成29年度の重点項目と主な実施事業の概要は、次のとおりです。

2. 重点項目

- (1) 会員拡大と就業機会創出・拡大事業
- (2) 多様な働き方の推進
 - ① シルバー派遣事業の積極的推進
 - ② 職業紹介事業の活用
- (3) 高齢者活躍人材育成事業の実施
- (4) 安全・適正就業対策事業
- (5) 普及啓発事業
- (6) 健全な団体運営に関する活動
- (7) 諸会議の開催

3. 事業実績

平成29年度の基本方針に則り、以下の事業を実施し、新しい時代を展望したシルバー事業の健全な発展と拡充に取り組みました。

(1) 会員拡大と就業機会創出・拡大事業

県内の各地域では、介護をはじめとする少子高齢化への対応、子育て支援や地域経済の活性化、環境問題など多くの課題を抱えており、こうしたニーズに対応していくことがシルバー事業にも求められています。

① 会員及び就業機会拡大

当連合会では、各センターをはじめ市や町、商工団体等と連携して、会員拡大と就業機会創出・拡大事業に取り組みました。

会員拡大については、全シ協で策定した「シルバー人材センター100万人計画」の平成29年度目標値に準じて当連合会が策定した中期計画では、平成29年度の県内目標会員数を7,300人と掲げ、各センターに目標会員数を割り振っているため、今年度の目標達成に向けた取り組み強化に努めました。しかし、会員数及び契約金額ともに目標達成とはなりません。

【平成29年度の事業目標】

- ・ 県内目標会員数 7,300人
 - ・ 県内目標契約金額 1,975,095千円
- (※平成28年3月31日現在の県内センター会員数は、3,957人)

【※事業成果】

- *平成30年3月31日現在のセンター会員数
- ・ 県内会員数実績 3,777人
 - ・ 県内契約金額実績 1,650,036千円

次に、高齢者の新たな就業機会の創出・拡大については、様々な課題解消に繋がる新たな就業機会創出の事業企画やシルバー事業として継続可能な事業の立ち上げを支援することにより、高齢者の新たな就業機会の創出・拡大を図りました。

- ・関係機関・経済団体・地方公共団体等との連携強化
- ・ホワイトカラー職種に係る就業機会の開拓促進
- ・就業マッチングのための支援
- ・会員による会員情報及び受注情報の収集

② 社会のニーズに対応した新たなサポート事業

福祉・家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援事業などに対し積極的に支援を行うため、新たなサポート事業として高齢者活躍人材育成事業を活用した技能講習や接遇講習などを実施して就業機会の拡大に繋がるよう取り組み、新規会員の発掘等にも積極的に取り組みました。

【平成 29 年度の事業目標】

- ・研修事業：開催回数 年 4 回（前期 1 回、後期 3 回）
（役職員研修会 11 月、担当者研修会 9 月、11 月、2 月）
- ・調査研究、情報提供事業：事業概要年 1 回作成

【*事業成果】

- ・予定した各種研修事業を実施しました。
- ・連合会事業概要作成 500 部（8 月 1 日付発行）

(2) 多様な働き方の推進

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種において人手不足が深刻化しており、高齢者が当該分野の担い手として活躍することが期待されています。一方、会員の働き方も多様化してきていますので、これに対応するため、シルバー派遣事業を積極的に推進することにし、連合会でも就業機会確保・雇用サポート事業に国及び県の支援を受けて新たに取り組みを開始しました。併せて、職業紹介事業も有効活用して就業機会の拡大を図りました。

① シルバー派遣事業

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護及び育児等の現役世代を支える分野において、シルバー派遣事業を着実に拡大し、高齢者がこの分野の担い手として活躍することが期待されています。

このため、連合会では、県のサポート事業補助金を活用し、全シ協が各連合会の当面の取扱契約金額の目標額としている 2 億円以上を目指して、派遣就業を希望する高齢者の入会を促進するなど、県内 11 か所（佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、有田町、嬉野市、玄海町、白石町）の届出センターと連携し、シルバー派遣事業の着実な取り組みを推進しました。その結果、当初の目標をすべて達成することができました。

【平成 29 年度の事業目標】

- ・派遣会員数 250 人、派遣契約件数 130 件、派遣契約金額 100,004 千円

【*事業成果】

- ・派遣会員数 486 人、契約件数 131 件、契約金額 114,851 千円

②有料の職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、こうした仕事を希望する高年齢求職者に紹介する事業です。

連合会では、この事業を行う事務所（連合会本部及び職業紹介事務所を設置した法人センター）を佐賀労働局に届け出ており、現在の県内事務所は連合会のほか、佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、有田町、嬉野市、玄海町、白石町の 11 センター内にあります。本年度、各事務所で本事業を実施しましたが、残念ながら実績はありませんでした。

【平成 29 年度の事業目標】

- ・就職件数 2 件 ・就職延件数 184 人日 ・収入額 119 千円 ・手数料 32 千円

【*事業成果】

- ・就職件数 0 件、延件数 0 人、収入額 0 千円、手数料 0 千円

③成長分野における請負就業

近年、シルバー会員の働き方は多様なニーズに応じて、従来の請負のみで就業するだけでなく派遣や職業紹介での就業が増えていますが、会員の就業の基本は請負であることに変わりはなく、福祉・家事援助サービス事業や介護予防・日常生活支援総合事業、空き家管理対策事業などにも着目して事業拡充策を支援しました。

(3) 高齢者活躍人材育成事業の実施

当該事業は、国からの委託事業を連合会が受託して実施するもので、シルバー派遣事業による就業機会の拡大を図るため、派遣業務に就業できる会員や一般高齢者の人材育成を目的とした技能講習を県内各地で効果的に実施しました。

具体的には、講習実施のためのコーディネーターを配置し、店舗スタッフ補助養成、介護補助養成、介護食士補助養成講習など人手不足が見込まれる分野の講習を年間 17 回予定しており、受講者は受講料、テキスト代、教材費等は無料で参加できます。当該事業は、17 講習を効果的に実施しました。

【平成 29 年度の事業目標】

- ・介護補助養成講習をはじめ、年間 17 講習を実施する。

【*事業成果】別紙実績一覧のとおり 17 講習を 6 月から 12 月までに実施しました。

(4) 安全・適正就業対策事業

「安全・安心なシルバー事業」の展開を図ることは、シルバー事業を実施する観点から最も基本的なことであり、組織を挙げて安全対策をより一層推進しなければなりません。特に高年齢者の就業確保にあたっては「安全は全てに優先する」を理念とし、健全な事業運営を推進するため、安全・適正就業対策委員会を設置し、高年齢者に相

応しい仕事の確保・提供及び関係法令に則した適正な就業について指導・相談・助言を行うとともに、事故防止啓発のため安全委員による作業現場の安全パトロールや現地調査を行いました。また、安全・適正就業についての意識向上と理解浸透を図るため、全シ協が毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と設定するのに合わせ、県連合会でも県内センターの役職員及び会員を対象とした安全就業促進大会を実施しました。

【平成 29 年度事業目標・成果】

①各センターに対する指導・相談・助言

- ・指導員である連合会事務局長のほか、連合会の職員が各センターからの問い合わせ等に対し、随時対応する。

【*事業成果】8月中旬～9月上旬に全センターを個別訪問し、対応しました。

②安全パトロール及び現地調査

- ・安全適正就業対策委員が安全パトロールのため、会員の就業先に出向き、現場の状況、服装等の点検、評価、指導を行うもの。年1回

【*事業成果】10月に鹿島市SC管内の就業現場で実施しました。

③安全就業スローガンの募集、表彰

- ・年1回、4月に実施
- ・各センター会員から募集し、入賞作品を安全就業促進大会で表彰する。

【*事業成果】7月19日の安全就業促進大会にて実施、応募作品は59作品

④安全就業促進大会

- ・年1回、7月に開催予定（参加予定人数 200名程度）
- ・安全就業スローガン表彰、安全に関する講演、センターによる事例発表
- ・安全就業に対する大会決議

【*事業成果】7月19日に佐賀市で開催し、参加者は230人でした。

⑤安全就業講習会

- ・年1回、11月に開催予定（参加予定人数 100名程度）

【*事業成果】安全就業リーダー養成講習会に名称を変更し、12月に開催しました。参加人数は90人でした。

(5) 普及啓発事業

県民にシルバー人材センターの事業の意義、理念、仕組み等を理解してもらうと共に会員確保と就業機会等の拡大を図るため、ホームページによるセンター事業の紹介を行うほか、県・市・町の広報紙や連合会広報紙「連合さが」での記事掲載、新聞折り込みチラシ等への広告掲載などを行いました。

また、全国的な取り組みとして、毎年10月が「シルバー人材センター普及啓発促進月間」に設定されていますので、県内の拠点センターと協力し各市内の大型店舗前やイベント会場などで街頭宣伝等の広報活動を実施しました。

【平成 29 年度の事業目標】

- ・（新聞）新聞5社への広告掲載 年2回：7月、2月
- ・（広報紙）シルバー連合さかの発行 年2回：各回1,000部
- ・（チラシ）啓発チラシの作成 年2種：各1,000部

- ・（街頭宣伝）場所：各地のイベント会場や大型店舗付近 年1回：10月
内容：啓発等チラシの配布

【*事業成果】 予定した各種事業を実施しました。また、3月3日には県内センターのPR活動として「いきいきシルバーフェアさが2018」と銘打って佐賀城下ひなまつりで賑わう佐賀市中心商店街でPRイベントを開催しました。

（6）健全な団体運営に関する活動

当連合会及び各センターの健全な団体運営を推進するため、次の事業に取り組みました。

【平成29年度の事業目標】

①自主財源の確保等

シルバー事業の推進はもとより、シルバー派遣事業の積極的な推進による就業機会の拡大と会員増強を推進することにより、自主財源の確保に努めました。

また、財務状況の分析を行い、業務実施方法等の見直しや経費節減に関する課題を洗い出し、改善策について検討を進めました。

【*事業成果】 各センターを対象として、派遣事業の推進と業務改善等に関する指導等を随時実施しました。

②指導相談事業

センター機能の強化に向けた自主・自立的な取り組みと効率的な業務の推進を基本に、センターのより適正・効果的な事業運営が確保されるよう顧問税理士と連携した会計指導を実施するとともに、シルバー事業に関する個別指導を適宜実施しました。

- ・会計指導の実施 随時
- ・シルバー人材センター事業の指導の実施 随時

【*事業成果】 相談があったセンターを対象に随時実施しました。

③関係団体等との連携、及び交流研修活動

少子高齢化社会に向けた国の諸施策が推進されていることから、関係機関との連携をより一層密にし、地域連携を行いました。また、全国シルバー人材センター事業協会及び九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が主催する研修会等にも積極的に参加し、その会議内容等を共有し、シルバー人材センター事業の充実・発展に努めました。

【平成29年度の事業目標】

- ・全シ協主催研修会等 開催回数：年8回
(総会6月、事務局長会5月、9月、1月、担当者会議7月、11月、12月、2月)
- ・九シ協主催研修会等 開催回数：年2回
(総会及び役職員研修会6月、職員研修会9月)

【*事業成果】 予定された各種会議等に出席しました。

(7) 諸会議の開催

当連合会の運営及びシルバー事業の運営に関する諸会議を次のとおり開催しました。

【平成 29 年度の事業目標】

①定款に定める会議の開催

- イ. 定時総会 年 1 回：6 月
- ロ. 理事会 年 4 回：第 1 回 5 月、第 2 回 9 月、第 3 回 12 月、第 4 回 3 月
- ハ. 監事監査 年 1 回：5 月

②その他の会議

- イ. 安全・適正就業委員会 年 2 回：第 1 回 6 月、第 2 回 2 月
- ロ. シルバー派遣事業運営委員会 年 2 回：第 1 回 5 月、第 2 回 1 月
- ハ. 理事長会議 年 1 回：第 1 回 12 月
- ニ. 事務局長会議 年 2 回：第 1 回 5 月、第 2 回 1 月
- ホ. その他、臨時的会議 随時

【*事業成果】当初予定した①定款に定める会議、及び②その他の会議を順次開催しましたが、安全適正就業委員会については、10月の安全パトロール実施時に第2回委員会を追加開催し、2月の第2回を第3回として開催しました。